



ぎおんばら

下野市立祇園小学校
校長室通信
平成29年度
11月号

「走って とんで ねて 食べて 元気いっぱいぎおんの子」

『書物の新しいページを1ページ、1ページ読むごとに、私はより豊かに、より強く、より高くなっていく。』

これは、ロシアの劇作家チーホフの言葉です。10月27日から11月9日まで、読書週間でした。そして本市、本校とも読書指導の充実を重点課題として取り組んでいます。この読書週間は1924年にはじまり、90年もの歴史がありますが、この週間をきっかけとして、読書の楽しさに気付いたという人もたくさんいることでしょう。そこでここでは、読書について少し書いてみたいと思います。

人は、外の世界と関わりを持ち学ぶことではじめて人間になると言われています。乳幼児期の親との密接な関わりから始まって、小・中学校と進むに従って体験の量や質も飛躍的に増え、自己の形成をしていきます。しかし、一人の人間が生活する範囲は限定的で、出会う人や経験も限られています。人が自分の周りの狭い世界に留まる限り、成長にも限界があるのは当然のことでしょう。この限定的な世界を広げ、新たな世界への扉を開いてくれるのが読書だと思います。例えば、小説では、主人公の生き方や考え方に触れることで、共感や反発を覚えながら勇気や希望を与えてくれることもあるでしょう。歴史の本では、人々の生活や価値観の変遷、民族の攻防などを知ることができ、そこから現在の国の在り方等にも視野を広げることが可能だと思います。他にも様々なジャンルの本がありますが、手にとってページを括ってみると本の世界には限りない広がりがあることが分かります。

人類の進歩は本と共にあり、個人の成長も読書によるところが大きいと私は感じます。このように、読書は時間と空間を超えた体験と豊かな知識を身につけたり、他者との対話によって多様な考え方を深め自分を客観視したりできる素晴らしい営みです。「灯火親しむべし」と言います。もう秋は過ぎてしまったかもしれませんが、ぜひ、この時期に本を手にとってみてください。



平成29年度「下野市児童表彰式」が挙行されました



前向きな気持ちでいろいろなことに取り組んでいきたいと思えます。今回は本当にありがとうございます。

この児童表彰を初めて見たのは、四年生のときでした。六年生全員が表彰されているのを見て、一人一人の良いところをたえてもらえたいことを知り、早く表彰されたいと思ったのを覚えています。これまでの生活の中でも、失敗をおかしたり、最後までやり通せなかったことが何度もありました。しかし、その経験を活かし、次の活動につなげることができました。これは、今まで教え、自分を上げさせてくださった先生方、見守ってくださった地域の皆様、そして家族のおかげだと思っています。また、六年生になる前は、六年生が学校のために活動をしている姿に憧れを持っていました。そして六年生になって、五年生までの学校生活とはかなりちがうところがありました。最上級生の責任の重さや、学校のために仕事をやるなど、やることで増え、いかに大変かを実感しました。そして今日、ぼくは努力賞をいただきました。これまでの学校生活に達成感を感じました。

児童表彰お礼の言葉
児童代表 大久保湊太郎
本日は、児童表彰を行ってくださり、ありがとうございます。自分たちが今まで過ごしてきた六年間のがんばりが、この表彰で認められ、たたえていただけることがとてもうれしいです。
この児童表彰を初めて見たのは、四年生のときでした。六年生全員が表彰されているのを見て、一人一人の良いところをたえてもらえたいことを知り、早く表彰されたいと思ったのを覚えています。これまでの生活の中でも、失敗をおかしたり、最後までやり通せなかったことが何度もありました。しかし、その経験を活かし、次の活動につなげることができました。これは、今まで教え、自分を上げさせてくださった先生方、見守ってくださった地域の皆様、そして家族のおかげだと思っています。また、六年生になる前は、六年生が学校のために活動をしている姿に憧れを持っていました。そして六年生になって、五年生までの学校生活とはかなりちがうところがありました。最上級生の責任の重さや、学校のために仕事をやるなど、やることで増え、いかに大変かを実感しました。そして今日、ぼくは努力賞をいただきました。これまでの学校生活に達成感を感じました。

平成29年11月4日(金)、6年生の保護者、学校評議員、児童・民生委員、交通指導員、PTA役員、本校でお世話になっているボランティアの方々等、大勢の方々に温かく見守られながら、平成29年度の「下野市児童表彰式」が厳かに行われました。対象児童の6年生73名に対して、下野市長 広瀬寿雄様から一人一人の児童にすっきりとした「銅メダル」が授与されました。さらに下野市教育委員会教育長 池澤勤様からは「表彰状」が授与されました。表彰状には、「明朗賞」、「健康賞」、「努力賞」、「体育賞」、「親切賞」、「学芸賞」、「友情賞」の中のひとつが明記されています。6学年の学級担任が、児童一人一人の個性や良いところなどから、心を込めて決めました。どの賞も同じ価値、重みがあります。この銅メダルには、本校の子どもたちに、銀メダル、金メダルとして、より良い色に輝かせることができるような生き方をしてほしいという、我々教職員と市民の切なる願いが込められています。メダル等の授与後、市長様からあいさつと励ましの言葉をいただきました。子どもたちには、この賞の大切さや、それぞれの賞の持つ重みを実感して欲しいと思います。これからの自分の生き方を考える大きなきっかけになることを期待しています。改めて関係者に感謝申し上げます。この児童表彰式が終わると6年生はいよいよ卒業に向けてカウントダウンです。輝け6年生!



6年1組



6年2組



修学旅行に行ってきました！！

鎌倉散策⇒横浜（肉まん・餃子づくり）⇒横浜（オービィ・赤レンガ倉庫）

10月12日（木）・13日（金）6年が「修学旅行」に行ってきました。今年も台風と秋雨前線の影響で雨が多かったため天気は大丈夫かなと心配していました。天気予報では初日は晴れて、2日目は雨の予報でしたが、鎌倉見学は大丈夫だとほっとしたのを覚えています。天気予報が当たり、初日はとても良い天気で暑いくらいでしたが、2日目はやはり雨となってしまいました。でも、鎌倉の歴史に触れる旅を、横浜では体験活動を中心とした活動をして、有意義な思い出に残る旅行になったようです。2日間、6年児童一人一人がめあてに沿って行動し、ルールやマナーを守って行動できました。友達と協力しあい充実した修学旅行にしようと、がんばっている姿が随所に見られたそうです。さすが、祇園小の最上級生だと感心しました。

1日目は、鎌倉周辺を散策しました。班別活動でしたので見学先は様々でしたが、小町通りでおみやげを買い、鶴岡八幡宮で鎌倉の歴史と文化に触れ、班によっては銭洗弁財天まで足を伸ばしたようです。集合場所は鎌倉大仏で有名な高徳院でしたが、みんな江ノ電の時間を確認しながら遅れることなく到着したそうです。その後、バスで一路横浜へ！横浜中華街で肉まん・餃子づくりを体験しました。この肉まんや餃子はなかなかのボリュームで、それ以外にも料理がたくさん出ますので、みんなおなかいっぱいになったことでしょう。その後、夜景がとてもきれいなホテルでぐっすり休み一日目は終了しました。

2日目は、立つ鳥跡を濁さずの言葉通りきちんとした態度でホテルを後にしました。そしてスカイウォークで横浜の景色を堪能した後、オービィに移動。オービィでは、BBC制作の動物や大自然の映像を使ったアトラクションがたくさんありますので、全部体験するには、時間が足りないうらいだったかもしれません。そしていよいよ旅は終わりに近づきます。赤レンガ倉庫で昼食を摂り、最後のおみやげを買い、シーバスで横浜駅へ向かいました。帰りの電車に乗るときは、疲れた中にも充実感と満足した表情が見られました。私は、自治医大駅でみんなを迎えましたが、元気で明るい様子からいい旅行だったんだとよくわかりました。いい思い出ができてよかったです。



鶴岡八幡宮



鎌倉大仏前



オービィ



江ノ電の前で



暗闇ウォークラリー開催！大いに盛り上がりました！！



11月11日（土）の夕方から、本校校舎を会場として、今年も暗闇ウォークラリーを開催しました。今回は昨年よりも多い124組もの参加があり、大盛況でした。今回は一工夫をして、昨年よりちょっと怖い演出をしたので、参加された方々から、「学校は、去年より気合い入ってましたね！」「去年より怖かった」「わくわくして楽しかった」等の感想をたくさんいただきました。お手伝いをしてくださったお父さん方にも本当に感謝です。ありがとうございます。次年度の実施に向けて、よりよいアイデアがありましたらいつでも学校にお知らせください。学校だけではなく、地域・保護者との協力でよりよい企画にしていければ素晴らしいことだと考えております。さて、来年はどんな企画になるでしょうか。今から楽しみです！！



いよいよスタート！



廊下も怖いよ～！



キーワードはどこに？



理科室いい雰囲気です！！



ゴール！お疲れ様でした！

PTA主催のバザーが開かれました

暗闇ウォークラリーに先だって、PTA主催のバザーが開かれました。PTAの方々のご尽力で、今回実現したバザーですが、飾り付けなど、とても可愛らしい素敵な会場となっていたのにびっくりしました。日用品や手作りの素敵な飾り、絵本など、皆さんの協力によって集められたたくさんの品々が並べられ、大勢の保護者で賑わいました。また、スライムづくりや、ビーズアクセサリづくりなどの体験コーナーもあり、子どもたちが大喜びで体験していました。今回得られた収入は、30周年記念事業に使わせていただきます。準備や当日の運営をくださったPTAの方々、また参加してくださった皆様のご協力ありがとうございました。

